



## 救えるいのちのためなら どこへでも

### ～ハイチ共和国へ看護師を派遣～

平成22年1月に大地震に見舞われたハイチ共和国では、コレラが大流行し、約70万人が感染、約8,600人が死亡、現在も終息していません。

国際赤十字は、ハイチ政府と協力しコレラ撲滅のための事業を展開。日本赤十字社では、コレラ予防の衛生促進事業に取り組んでいます。このたび、姫路赤十字病院の津田香都看護師を、中央県ミレバシ地区に5月12日から派遣。コレラ対応プロジェクト・マネージャーとして、コレラ予防対応チームの育成、経口補水液や石けんなど感染拡大を予防する「コレラ対応キット」の配備と地域でコレラが発生した場合に対応できる能力の育成などといったプロジェクトを指揮します。



出発式で後輩学生に見送りを受けた  
津田看護師（前列右から3番目）



## 「看護の日」にちなみ イベントを開催

5月12日の「看護の日」にちなみ、5月14日に多可赤十字病院でイベントを開催。健康相談や血圧・体脂肪測定のほか、お薬相談やフットケア、低カロリー食の紹介などを行いました。

参加者からは「健康が大切だと両親の介護を通じて思った。このようなイベントは大変良いことなので、年に1回と言わずもっとして欲しい」との感想がありました。



多可赤十字病院での  
イベントの様子

## 講習のご案内

お問い合わせは、  
お電話またはホームページで

078-241-1499 (講習係)

|   |
|---|
| 救急法基礎講習(1日受講)   |
| 7/25(土)、8/2(日) 13:00～17:30  |
| 救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)  |
| 7/18(土)・19(日)・20(月祝)<br>8/4(火)・5(水)・6(木) 9:30～17:30(初日は13:00～)<br>8/23(日)・29(土)・30(日) |
| 水上安全法(プール講習・4日間受講)  |
| 7/19(日)・20(月祝)・8/1(土)・2(日) 9:00～17:00(最終日は～14:00まで)                                   |
| 雪上安全法救助員I養成講習(1日受講)   |
| 7/12(日)、7/16(木) 9:00～17:30  |
| 幼児安全法(3日間受講)  |
| 8/7(金)・8(土)・9(日) 10:00～16:00  |

|          |   |
|----------|---|
| 科目別講習    | 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。                           |
| 健康生活支援講習 | 高齢者に起こりやす事故の予防と手当、急病への対応<br>7/12(日) 10:00～12:00 |
| 健康生活支援講習 | リラクゼーション・癒しのハンドケア<br>7/12(日) 13:00～15:00        |
| 救急法講習    | AEDを使用した一次救命処置<br>7/26(日) 10:00～12:00           |
| 救急法講習    | きずの手当<br>7/26(日) 13:00～15:00                    |
| 幼児安全法講習  | 子どもの病気と看病のしかた<br>8/28(金) 10:00～12:00            |
| 幼児安全法講習  | 乳幼児の一次救命処置(PBLS)<br>8/28(金) 13:00～15:00         |

◇申込期日は開催日(初日)の一月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。(プール使用時のみ三木市内)

## 救急法ミニ講習会イベントを開催しました

5月9日、イオン明石ショッピングセンターにて、救急法ミニ講習会イベントを開催し、49人の方に体験いただきました。「AEDはむずかしい器機ではないことがわかった」「胸骨圧迫は思った以上に力があるんですね」などの感想をいただきました。



# ひょうごの 赤十字

2015 June 6月

## あふれる笑顔で赤十字をPR



- 「平成27年 全国赤十字大会」に参加
- 姫路市地区赤十字のつどいを開催
- パネル展示で赤十字活動をPR
- 誓い新たに
- 救えるいのちのためならどこへでも
- 「看護の日」にちなみイベントを開催
- 講習のご案内



日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号

078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



## あふれる笑顔で赤十字をPR

### ～神戸まつり「おまつりパレード」に参加～

5月17日、晴れわたる青空のもと開催された第45回神戸まつり「おまつりパレード」に兵庫県支部が参加し、赤十字活動への理解と協力を呼びかけました。

パレードへは、5月の赤十字運動月間のPR活動の一環として毎年参加しています。

神戸まつりの今年の合言葉「神戸から ふれあう心 あふれる笑顔」と、今年は阪神・淡路大震災から20年の節目であることから、「あふれる笑顔を守るために」「災害からのちを守る赤十字」をテーマに掲げ参加。

装飾車両や大きな赤十字バルーン、救急車や献血バスなどの赤十字車両とともに、看護学生や奉仕団員、支部施設職員総勢63人が、赤白の風船やプラカードを持ち、元気いっぱいにPR。

沿道からは手を振ってくれたり、笑顔を返してもらったりと、参加した私たちも楽しくPRすることができました。



神戸市のメイン大通り  
フラワーロードをパレード



奉仕団の皆さんと一緒に  
パレードするワンちゃん



青空に映え、注目を集めた  
大きな赤十字バルーン



笑顔あふれる看護学生（1年生）



## 「平成27年 全国赤十字大会」 に参加

5月13日、東京の明治神宮会館において、日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、同名誉副総裁の秋篠宮妃殿下、常陸宮妃殿下、寛仁親王妃殿下、高円宮妃殿下ご臨席のもと、全国から赤十字関係者約1,400人が参加し、平成27年全国赤十字大会が開催されました。

大会は、赤十字事業の発展に尽くした功労者に有功章を贈るとともに、更なる赤十字の普及推進のため、毎年5月の赤十字運動月間に開催されています。

兵庫県支部からは、有功会や地区・分区分の皆さんなど、42人が参加しました。



大会の様子

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

**活動資金にご協力をお願いします**

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136  
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



## 姫路市地区赤十字の つどいを開催

5月12日、姫路市赤十字奉仕団の皆さん約120人が参加し、平成27年度姫路市地区赤十字のつどいが、イーグレひめじあいめっせホールで開催されました。

姫路市地区では、赤十字にとって所縁の深い5月を「赤十字運動月間」として、赤十字奉仕団員が集い、赤十字思想の普及啓発と赤十字活動資金の募集を目的に開催しています。

はじめに城西分団の東山分団長の信条朗読、そして、日赤姫路市地区長、岩田奉仕団委員長、兵庫県支部の挨拶に続き、平成26年の兵庫県支部の活動報告が行われました。また、サイエンスインストラクターであり防災士でもある阿部清人氏による「～東日本大震災を乗り越えて～いのちを繋ぐ言葉」と題した講演会を開催。楽しい科学実験を交えた東日本大震災の体験談は、防災・減災意識の高揚にもつながったようです。



防災エンショーに参加する  
赤十字奉仕団の皆さん



## パネル展示で 赤十字活動をPR

5月の「赤十字運動月間」中に各地域でパネル展示を行いました。

5月18日～29日、明石市地区による「日本赤十字社パネル展」が明石市役所2階ロビーにて開催されました。

日本赤十字社の事業紹介をはじめ、兵庫県支部が行った兵庫県台風9号災害や東日本大震災での救護活動、そして発災から20年となる阪神・淡路大震災の経験と教訓をもとにした兵庫県支部の取り組みなどをご覧いただき、赤十字活動を広く知っていただく機会となりました。

4月30日～5月6日には、神戸市地区本部のご協力により、神戸市役所花時計ギャラリーにて、阪神・淡路大震災の経験と教訓をもとに兵庫県支部が取り組んできた活動のパネル展示を行うとともに、広く赤十字活動への参加とご協力を呼びかけました。



明石市地区によるパネル展の様子



神戸市役所花時計ギャラリーでの展示



## 誓い新たに

### ～青少年赤十字協議会が新メンバーでスタート～

5月6日、新たなメンバー（生徒）を迎える兵庫県中学・高等学校青少年赤十字協議会加盟式と例会（第1学期）が兵庫県支部で開催されました。

加盟式では、藤原事務局長から登録証が交付され、青少年赤十字メンバーとして活動していくことを全員で誓いました。

例会では、本年度のテーマ「ボランティア」について考えるため、ひょうごボランティアプラザ所長代理の鬼本英太郎氏による講演「ひょうごの被災地ボランティア活動」を聴講。また、県立舞子高等学校、県立国際高等学校、滝川高等学校のメンバーから、東日本大震災の復興支援に対する取り組みの報告がありました。その後行われた「自分たちができる東日本大震災に対する支援活動」を考え発表するグループワークでの積極的に発言する姿から、メンバーとしての自覚を感じました。



出しあった意見をまとめ  
発表する新メンバーたち